

医学・薬学系研究に関するご協力をお願い

研究機関 宮崎県立日南病院 薬剤部

研究責任者氏名 寺町 文宏

このたび当院では、感染症で入院された患者さんの抗菌薬の使用量や細菌培養検査結果等の情報を用いた下記の医学・薬学系研究を、当院研究倫理委員会の承認のもと、倫理指針および法令を遵守して実施しますので、ご協力をお願いいたします。この研究を実施することによる、患者さんへの新たな負担は一切ありません。

1. 研究課題名および倫理審査承認日

研究課題名 タゾバクタム・ピペラシリン静注用の適正使用にかかる取り組みと評価

研究倫理審査承認日 2022年7月12日

2. 対象となる方

2018年1月1日から2021年12月31日までの間に、当院にて感染症の治療のため入院し、タゾバクタム・ピペラシリン静注用による治療を受けた方

3. 研究の意義・目的

近年では抗菌薬の不適切な使用などにより、耐性菌の増加が世界的に問題になっています。この研究では抗菌薬適正使用支援チームによる介入および支援が不適切な抗菌薬使用の抑制や治療効果の向上に寄与できるかを調査します。この結果により、抗菌薬の適正化に向けた取り組みの改善点を明らかにすることができ、その結果、耐性菌の抑制および患者さんの予後改善の効果が期待できます。

4. 協力をお願いする内容

当院において患者さんに使用されたタゾバクタム・ピペラシリン静注用の払出しデータから、その使用量と使用日数を調査します。また、細菌培養(血液培養に限る)で陽性となった患者さんのうち、タゾバクタム・ピペラシリン静注用で治療された患者さんの転帰を確認します。なお、個人情報は連結不可能匿名化とし、個人情報が漏洩することの無いように十分留意して研究を行います。

5. プライバシーの保護について

1)本研究で取り扱う患者さんの氏名や患者番号などの個人情報は、取り扱いません。その他の個人情報(住所、電話番号など)も一切取り扱いません。

2)本研究で取り扱う患者さんの細菌培養の結果や抗菌薬の使用量の情報は、個人情報をすべて削除し、第三者にはどなたのものか一切わからない形で使用します。

6. お問い合わせ

本研究に関する質問や確認のご依頼は、下記へご連絡下さい。また本研究の対象となる方またはその代理人(ご本人より本研究に関する委任を受けた方など)より、情報の利用の停止を求める旨のお申し出があった場合は、適切な措置を行いますので、その場合も下記へご連絡をお願いいたします。

宮崎県立日南病院 薬剤部 寺町文宏

電話番号：0987-23-3111